

各位



2024年9月10日

株式会社グリーンエナジー&カンパニー

(証券コード：1436)

### 系統用蓄電池事業における運用会社設立に関するお知らせ

#### 1. 合同会社霧島蓄電所について

株式会社グリーンエナジー&カンパニー（東京本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴江 崇文、以下「GEC」）は、再生可能エネルギーの有効活用に向けた取り組みである系統用蓄電池事業において、日本エネルギー総合システム株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役：黒淵誠二）、合同会社 DMM.com（本社：東京都港区、会長 兼 CEO：亀山敬司）の3社の出資により合同会社霧島蓄電所を設立しました。

合同会社霧島蓄電所は、系統用蓄電池事業の第1号案件として開発を行う鹿児島県霧島市の霧島蓄電所の運営会社となり、3社共同で事業ノウハウ蓄積による事業価値向上と運営基盤の強化を図ります。

#### <事業概要>

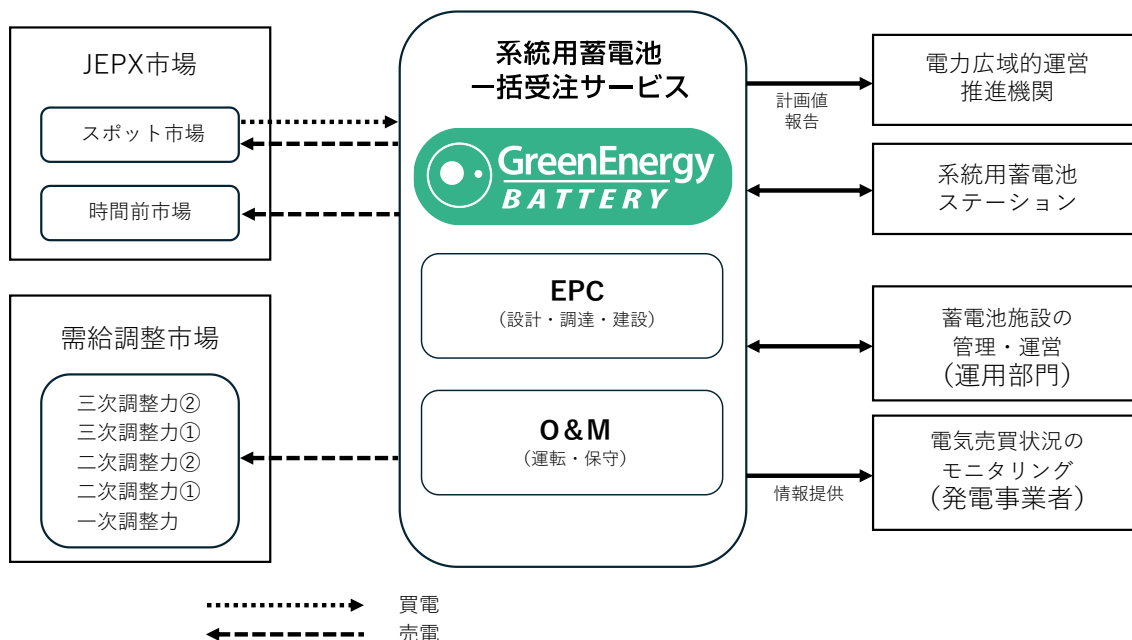
名称	霧島蓄電所
事業主体	合同会社霧島蓄電所
出資事業者	日本エネルギー総合システム株式会社 合同会社 DMM.com 株式会社グリーンエナジー&カンパニー
所在地	鹿児島県霧島市
定格出力	1.99MW
定格容量	8.128MWh
電池方式	リン酸鉄リチウムイオン電池

#### 2. 系統用蓄電池一括受注サービスについて

GECは、系統用蓄電池の開発から運用まで一貫して行う体制を構築しました。グループ会社である株式会社グリーンエナジー・プラスがEPC（設計・調達・建設）を担当し、株式会社グリーンエナジー・ファシリティーズがO&M（保守）と運転運用（アグリゲーション含む）を担当します。これにより、系統用蓄電池施設の開発に関してワンストップでサービスを提供できるようになりました。

この体制により、効率的で安定したエネルギー供給を実現し、地域社会の持続可能な発展に貢献することを目指しています。

<系統用蓄電池一括受注サービス イメージ図>



### 3. 系統用蓄電池設置の意義

日本政府は、CO2削減目標の達成、送配電システムを含む電力システム全体の効率化、および災害に強いエネルギー供給を目的に、再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）の導入・普及を推進しています。しかし、太陽光発電や風力発電をはじめとする再エネは、季節や時間帯、天候に発電量が左右されるため、導入が進むにつれて電力システムを不安定化させる要因となることが問題となっています。

系統用蓄電池は、電力の需給バランスに合わせて充放電することにより需給バランスを調整することが可能であり、システムの安定化に寄与するため、再エネの導入促進に欠かせないものとして注目されています。系統用蓄電池の設置により、以下の効果が期待されます。

- ・エネルギーの安定供給：電力需給のバランスを保ち、停電リスクを低減させます。
- ・再生可能エネルギーの活用促進：余剰電力を蓄電し、需要増加時に有効利用します。

系統用蓄電池は、再エネの不安定さを補い、需給バランスを維持するための重要な役割を果たします。これにより、エネルギーの安定供給が実現し、再エネの普及が一層促進されるとともに、日本のエネルギーシステム全体の効率化にも寄与します。

※系統用蓄電池とは

再生エネルギー電源に併設される蓄電池と異なり、系統に直接接続され、特定の電源の出力変動ではなく、電力システム全体の需給変動への対応に活用される蓄電池です。再生可能エネルギーの出力変動を平滑化したり、需給バランスを調整したり、周波数や電圧の制御を行ったりすることで、電力系統の品質や信頼性を向上させることができるのも特徴です。

#### 4. 今後の見通し

現段階では、この取り組みによる業績への影響は軽微と見込んでおります。必要に応じて、速やかに追加の情報を開示いたします。

弊社は、持続可能なエネルギー社会の実現を目指し、これからも積極的に取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

##### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社グリーンエナジー &カンパニー

IR 担当：渡邊

[ir@green-energy.co.jp](mailto:ir@green-energy.co.jp)

##### 【系統用蓄電池一括受注サービスに関するお問い合わせ】

株式会社グリーンエナジー &カンパニー

系統用蓄電池グループ 担当：平岡

[battery@green-energy.co.jp](mailto:battery@green-energy.co.jp)

※詳細は以下をご覧ください。

<https://green-energy.co.jp/service/storage-battery/>

以上